

京都府内で相談業務等に携わる職員対象

令和6年度心理療法セミナー

日常の相談支援に生かす遺族への アプローチと心理的プロセス理解 ～基礎としての「触れる」こと、 自己創造過程としてのグリーフケア～

今回、遺族への心理的支援などを専門としておられる、京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科准教授、倉西宏先生をお招きします。

心理職に限らず、ご関心のある様々な職種、支援者の皆様のご参加をお待ちしております。

令和6年 **12月2日(月)**
14:00-17:00

Zoomによるオンライン開催

定員：100名

講師

京都文教大学 臨床心理学部臨床心理学科 准教授
京都文教大学グリーフケアトポス*こはこ 代表

倉西宏先生



裏面に講師からのメッセージやお申込み詳細がございます

参加
無料

申し込みフォーム

<https://forms.office.com/r/yXL305T1CY>

【申し込み締め切り：令和6年11月18日(月)】



申し込みフォーム

京都府精神保健福祉総合センター

講師からのメッセージ

京都文教大学 臨床心理学部臨床心理学科 准教授

京都文教大学グリーンケアトポス*こはこ 代表

倉西宏 先生

遺族への心理的支援において重要なことは、死別体験に「触れる」場所・機会を提供することです。そしてその「触れる」ことは遺族の内側に「動き」を生じさせます。このような「触れる」「動き」は安定への揺らぎを与えるため、不安や恐れを一過的に喚起させる場合もあります。ただ同時に、その人の中に「新しいもの」を生み出す契機になる場合があります。つまりグリーンケアとは「元に戻る」ことを支援するのではなく、遺族自身が「新しいもの」を生み出していく過程（自己創造過程）を支援することだと言えます。

遺族に関わる支援者側の課題も「触れる」ことです。死や死別体験という「わからないもの」に対して私達は無意識的に恐れを抱き、関わりに迷いが生まれます。今回の研修会では遺族が抱える基本的な背景や状態像の紹介と共に、遺族に私達はどのような態度で出会う必要があるのかについてもお話できればと思います。そして具体的な場面設定や事例を提示し、関わりや理解に関するワークの時間を持てればと思っています。

また、本研修会では成人だけでなく子どものグリーンケアについてもお話できればと思っております。ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

● 申し込みについて

※定員に達し次第、締切りますので御了承ください

※申し込みフォームがうまく開けない場合は、下記までお問い合わせください

※院内研修等に御利用になる場合は、個別に御相談ください

申し込みが完了しましたら、後日メールにて詳細をお送りいたします。
令和6年11月27日を過ぎてもメールが届かない場合は恐れ入りますが、
下記までお知らせください。

<お問い合わせ> 京都府精神保健福祉総合センター 相談指導課 南

TEL : 075-641-1810

E-mail : mhc-d@pref.kyoto.lg.jp